



ひまわりファイル

市議会9月定例会は10月22日、令和3年度一般会計決算はじめ認定案などを可決、認定して閉会しました。

名古屋市への要望書の提出

市議団から名古屋市に対策を求めて「物価高騰から市民生活を守るための要望」「園バス置き去り事故を受けての要望」の2件の要望書を提出しました。

物価高騰への対応としてヤングケアラーや子ども食堂、福祉施設などへの支援の拡充を要望するとともに、静岡県でおきた園児のバス置き去りの事故を受けて、市内の送迎バスの実態調査や課題の洗いだしなどの対策を要望しました。



校内の教室以外の居場所づくり

全国の小中学校で2021年度に不登校だった児童生徒は前年度から4万8813人増の24万4940人で過去最多となったことを10月27日、文部科学省が公表しました。

文科省調査の不登校児童・生徒数

()内は2020年度

小学校	8万1498人	(6万3350人)
中学校	16万3442人	(13万2777人)
高校	5万985人	(4万3051人)



名古屋市では、今年度より市内30の中中学校で「校内の教室以外の居場所づくり事業」を実施しています。登校はできるが、自分の教室には入れない児童・生徒などが安心して学習することができるよう学校での居場所を提供する事業です。

私は10月24日、教室で過ごしづらいと感じたりする生徒のための「スマイルルーム」を実施している市立富士中学校を視察しました。先生方のお話では、利用者同士で友だちができたり自分のリズムで登校することで自信に繋がったりしているとのことでした。不登校児童・生徒に寄り添った支援の強化は重要な課題です。必要とする全ての児童・生徒が利用できるようこの事業の実施校を増やしていきたいと思っております。

